

【質問3】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	主幹	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の中の育児は、情操教育の面で素敵だと感じます。また、小学生には、地域のスポーツチーム(野球・サッカー・柔道・剣道等)があり、放課後も充実した時間が過ごせます。 ・住宅が見える学校に勤務していますが、地域の方がマナーをわかまえてくれていて、保護者や児童が家に来ることはこの5年間で1度もありませんでした。(プライバシーを大切にしてくれる。) ・海・山、レジャーに行くにも30分以内、渋滞がない。 ・都会を感じたくなかった時も、2時間弱で浜松町へ行ける。船も多く出ている。 ・給食がおいしい。島の特産(野菜、魚)が出る。 ・通勤時間がほぼ5分以下(私の場合は徒歩1分)、通勤ラッシュがない。 ・自分の時間(余暇)や家族との時間が充実したものになった。 ・富士山や夕日、星が美しい。 ・広い校庭で、児童が伸び伸びと遊ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員間の人間関係、若手教員の育成等、研修の機会の確保等ありますが、島外の学校と課題は同じだと思います。 ・島には塾がほぼ無いに等しいので、家庭学習を頑張らせないといけないと、わが子を見て実感しています。ですが、ぎすぎすした競争社会に巻き込まれるよりは、よっぽど良いとも感じます。
大島町	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・人に尽きる。私の地元は大阪だが、人を大切にし、人に尽くす人々の町。 ・海に囲まれているため、いつでも海が見れる。 ・夏の盆踊りは7つの地域で行われる。踊りたい放題。 ・学校は、3地域に小中どちらもあるため連携がとりやすく、9年間を見通して教育に携わることができる。 ・将来を着実に見据えた教育ができる。小中を合わせると9年間、高校も含めると12年間を通して児童・生徒の成長が見られることで、現在受け持っている児童や生徒がどう成長していくのかを直に接して見取り、取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島の生活を知り、島の子を知り、島の子の将来を考える前に着任期間を終える教職員が多いことは課題だといえる。 ・20年後、30年後を見通した教育実践を検討する先見の姿勢が必要。 ・小中での考え方の違いや、教育方針のすり合わせをより現状と将来性を考えて構築していくことが必要。 ・苦勞は特にないが、都内学校のイメージで赴任し、保護者とのかかわりをおざなりにしてしまうと地域が密接にかかわる島の学校では通用しない。

【質問3】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	女	20代	<p>・「島の魅力」→豊かな自然：自然との距離が近い</p> <p>・「島の学校の魅力」開けていること→地域・保護者、学校が一体となって子供たちを育てていこうという意識が高い。</p> <p>・横のつながり、縦のつながりが強い→島内の小中学校、高等学校、保育園とのつながりが強い。特に島内の小中学校の教員同士のつながり。 →互いの学校のことや「教育」についての思いを共有し、高め合える関係教育の関わりだけでなく、余暇を共に過ごす仲間 バレーボールやバドミントン、月に1度程度開かれる集いでは、多くのことを語り合える。</p> <p>・子供たちの「子供らしさ」が想像を超えるものであったこと →どんなことにも【新鮮さ】を感じ、感動する。</p> <p>・子供たちの運動能力の高さ</p> <p>・植物や動物、自然についての知識が豊富 →名前、毒の有無、釣り、食べられるかどうか、</p> <p>・子供たちが優しい →虫嫌いな私を理解し、駆除してくれる</p>	<p>・島嶼公募で異動してきた教員と公募外で異動してきた教員の意識格差。 →仕事に対する考え方のスタートラインが違うように感じる。『子どもたちのために』を最優先にするという共通理解の徹底が必要。</p> <p>・子供の数に対して大人の数が多 →子供が自分で考える時間、行動する時間が十分あるにも関わらず、大人がすぐに手を出してしまっている。もっと子どもの自主性や主体性を伸ばしたい。</p> <p>・単学級のため、学年のことを相談する仲間がいない。他の学年担任は、自分の学年のこともあるので相談しにくかった。実際たくさん相談にのってもらったことはできたが、気を使うことが多かった。</p>
大島町	主任	男	30代	<p>学校には若手が多く、チャレンジ精神を皆もっている。</p> <p>職場で「こんな取組したよ」「○○という本がよかったよ」「○○学習を取り入れたよ」という声が毎日のように聞こえます。私も若手に負けなように、「日々勉強をしなくては」と思っています。</p> <p>自然が豊富。私は理科を専門にしています。やはり子供たちには実物を見せるのが一番です。海のプランクトン、火山性の地層、様々な動植物など、子供の好奇心を高める教材が島中にあります。暇などときには海岸へ散歩に行き、「何か授業で使えるものはないか」と目を光らせています。</p>	<p>「昔よき時代(個人的には課題ではなく残してほしい)」だと思います。前任校では「名字+さん」でなければ子供を呼んではいけませんでした。しかし、今は男の子に「○○くん」と呼んでいます。私は田舎の人間なので、男の子には「くん」を付けたいのです。</p> <p>大人と子供の距離が近い。今はフレンドリーでよいのですが、島を出た時のギャップに苦しんでしまうのではないかと不安です。</p>
大島町	教諭	男	40代	<p>・自然に囲まれた場所で、様々な体験ができる。</p> <p>・保育園に子供を入れやすい。</p>	<p>・校務や授業で使用する文具類・紙類が不足することがあり、支障をきたすことがある。</p> <p>・少人数の単級が基本で、児童・保護者・地域との距離が近い。</p>
大島町	教諭	男	30代	<p>・一人一人の子供とじっくり向き合えること。</p> <p>・自然(海や山)はもちろん、地域の方々、地域の文化行事等、深くかかわること</p> <p>・子供たちが素直で、すれていないことに感動。</p>	<p>・子供たちの目標(将来の夢)・・・多様な目標をもちにくい。</p> <p>・地域行事へのかかわり方</p> <p>・家庭問題</p> <p>・行事の多さでの苦勞</p>

【質問3】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
大島町	教諭	男	20代	<p>○島の魅力・・・自然豊かで心が洗われる。悩んだ時、リフレッシュしたい時、海・山・温泉等に触れることで、元気になる。</p> <p>○島の学校の魅力・・・子供の人数が少ないからこそ、じっくり子供を見ることができる。</p> <p>・今まで30人くらいのクラスでした。現在は14人。今まで子供をよく見ることができていると思っていましたが、見えていなかったということを学びました。(少ない場合は、子供をよく見ることができる。)</p>	<p>・(児童の)人数が少ないため、刺激が少ない。保育園から高校までずっと一緒だということもある。いつも慣れ親しんだ人間関係の中で過ごす。</p> <p>・単級のため、同学年の担任の先生がいないため、授業の相談がしにくい。</p>
利島村	教諭	女	20代	<p>・自然が豊かであること →東京都内でありながら、山や海の恵みを存分に感じて生活できる環境であると思います。職場のみなさんと釣りに出かけましたが、とても楽しかったです。あしたばもとても美味しいです！</p> <p>・教職員のみなさんがとても親切なこと →島しょ部に異動してきたという同じ境遇であるためか、仕事上でもプライベート面でも、たくさんサポートしていただいて大変ありがたいです。一緒に勤務して数ヶ月ですが、家族のような温かさを感じています。</p> <p>・自然に親しむ教育活動が盛んであること →登山や釣りクラブの活動、生活科のきいちごジャム・桑の実ジャム作りなど、自然が豊かだからこそできることがたくさんあり、とてもおもしろいです。</p>	<p>・(学校の課題については)今のところ、大きな課題は感じていません。</p> <p>・小規模校ですので、教職員一人一人の分掌・役割が多く、自分の仕事を把握するのに苦労しています。(小中併設校ですので、他校に比べたら少ないのかもしれませんが…)</p> <p>・校内研究や研修もしっかりしており、教員としての力を伸ばすことができる環境だと考えています！ですが、それと同時にやるべきことも多くなり、慣れるまでが大変です。(まだ慣れていません…)</p>
利島村	教諭	男	30代	<p>・内地のようにざわついておらず静かなところ。釣り、ハイキングなど自然に親しめるところ。</p> <p>・休日に学級の児童と車でザリガニ釣りに行ったこと。内地ではそうそうできることではない。</p>	<p>・人数が少ないので、様々な同年代と関わる機会が少ないのが残念。</p> <p>・(島の学校で苦労したこと、残念に感じたこと)特に大きなことはなし</p>
新島村	主任	男	30代		<p>・島の期待から行事が非常に多く、学習が遅れないようにするのが大変</p>
新島村	主任	女	50代	<p>・子供たちが豊かな自然の中でのびのびと育っている。</p> <p>・保護者が惜しまず協力してくれる。</p> <p>・子供と触れ合う中で、共に成長していける喜び感じられた。</p> <p>・保護者も理解がある温かい方が多い。</p>	<p>・多くの行事を少ない教員で取り組んでいくこと。</p> <p>・島に根付いて生活している大人ともっと交わる時間がほしい。</p>
新島村	教諭	男	30代	<p>・一人一人の子供に細かく目が届く。教員全体で一人一人の子供を見ている。</p>	<p>・ネット環境が悪く、不便 <※ 東京都では、現在、島しょ5村6島で、海底光ファイバーケーブル敷設整備によるインターネット環境改善事業が進められています。新島でも、平成30年夏頃にサービス開始となる予定です。></p>
新島村	教諭	男	30代	<p>・人が温かい。</p> <p>・自然が多い。</p> <p>・子供たちが素直で、関わっていると楽しい。</p> <p>・子供や保護者、地域と協力して教育に取り組める。</p>	

【質問3】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦労したこと、残念に感じたことはありますか。
新島村	主任	男	50代	<ul style="list-style-type: none"> 子供たちがとても素直 	<ul style="list-style-type: none"> 学習しない子供が多い。 内地と比べてかなり学力が低い。 学習させることに無関心な家庭が多い。
新島村	主任	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> 住人とたくさん関われる。知り合いが増える。そのため子供のために協力し合えるが増える。 協力してくれる人が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事が多い。
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> 景色に癒しを感じる。 	
新島村	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> 地域や教員同士の交流が多いのでさみしさを感じない。 島の人たちが声をかけてくれるので安心感がある。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな学校との交流が少ないので、情報不足になる。 島外の研修に行きづらい。
新島村	教諭	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域が近い。 通勤ストレスがない。 大自然に癒される。 子供たちが素直 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて学習に取り組める環境を作りにくい。休日の行事にも教師の指導が必要なことがあり、放課後や休み時間に指導することがある。そのため補習等がしづらい。 島の学校は楽だろうと思われてしまうこと。むしろ内地の学校よりも大変な面がある。 地域の力をどうやって学校に取り組みか模索している。
新島村	教諭	男	20代	<ul style="list-style-type: none"> 子供や地域の人たちと、より密接に関わることができる。 こままっていると島の人たちが助けてくれる。 子供たちが少ないので一人一人、個別の支援ができる。つまづいていた子供が支援をしてできるようになった時はとても嬉しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数なうえ、保育園のころからずっと一緒に過ごしてきたので、競争意識が少なく刺激がない。 子供のことが見えすぎてしまい、子供が考える前に大人が口を出してしまう。(親・地域の人・教員) 少人数ならではの指導の難しさを感じた。学力の差が明確にでてしまい話し合い活動、学び合いがしにくい。
新島村	教諭	女	20代	<ul style="list-style-type: none"> 自然豊かな環境の中で、子供たちとのびのびと過ごすことができます。また、地域とのつながりが強く、子供たちを島のみinnで見ています。事故や犯罪等がなく、安全です。学校外では、バレーボール、踊り、太鼓、歌等の様々な活動があり、島の方々とも交流することができます。 「教育は人なり」という言葉がありますが、人として大切なことを学ぶことが多くありました。以前は、学校と生活の場が離れていましたが、島に赴任してからは、学校も生活も同じ場です。子供たちとのかかわりや保護者・地域の方々とのかかわり方について、前任校での自分を振り返り、改めて考えさせられました。 都内では、すれ違う人に挨拶しませんが、島では、道で会う人会う人に挨拶をします。赴任してから1年が経ち、島の方が笑顔で声をかけてくれるようになったことが、とても嬉しいです。 	<ul style="list-style-type: none"> 小さい頃から同じ顔触れで過ごしているため、多様なものの見方や考え方に触れる機会が少ないことです。お互いに性格や特性を理解し合える関係である一方で、いつか大きな集団の中に入ることを視野に入れると、困難さが見られるのではないかと考えられる児童が見られます。恵まれた環境の中にいると、本人に困り感が生まれなため、支援がしにくいと感じています。

【質問3】小学校・公募応募教員

※ 職層及び年齢は、赴任時のものです。また、各職層の養護教諭を含みます。

町村名	職層	性別	年齢	【質問】 島や島の学校の魅力はどんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、感動したこと、学んだこと、嬉しかったことはありますか。	【質問】 島の学校の課題は、どんな点にあると感じていますか。また、島の学校に赴任して、苦勞したこと、残念に感じたことはありますか。
神津島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人みんなが顔なじみ 島全体で子供たちを見守っている。 自分の長男も島中の人からかわいがられ、ありがたい。 ・自然や文化という教材の豊富さ ・学校で学力を定着させなければならないという責任を改めて感じた。 ・離任される先生の見送りは感動 ・雨に濡れて歩いていたら、通りがかりの人が傘を貸してくれたこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・島でしかできない経験がある反面、島ではできない経験もある。 ・出島による欠席という島特有の事情 ・伝統的なことは、変えることが難しいこと
神津島村	教諭	女	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事が沢山あり、島全体が盛り上がっている。 ・島の方々や子供たちが笑顔で受け入れてくれたこと。特に、子供たちがすぐに声をかけてくれた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス替えがなく、同じ仲間がずっと一緒なので、他の学校と違って、人間関係の関わりが少ない。
神津島村	主任	男	30代	<ul style="list-style-type: none"> ・海がとても身近なので、海で遊んだり、釣りをしたりできる。 ・自分の子どもの成長を間近に感じられる。 ・食べ物(魚介類)がおいしい。 ・空や星、海がとてもきれいなこと ・四季をはっきりと感ずることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内地の情報が少ない。 ・子どもの人数も少ないので、学習面(特に体育)で、こまることもある。 ・内地への出張が大変